

第Ⅸ章 ワークショップ From Zero の活動

～ 稚内市観光振興計画を策定するにあたっての考え方 ～

初めて稚内を訪れた人は、「まだこんなところが有ったのか」と感嘆するだろう。それは日本本土最北端の自然を目の当たりにし、こみ上げてくる感動と、自然を対象にした現在の観光振興の主流とはおよそかけ離れた古い発想の観光地のありさまへの失望の入り混じった複雑な思いからに違いない。

その稚内観光が停滞している。聴き取りによると、そもそも稚内には観光は無いと言い切る市民も少なくないという。本当にそうだろうか。本書の後段で詳細に述べられる、今年度観光協会の事業の一環として実施された稚内観光客への意識調査（アンケート）では、稚内の観光ポイントを訪れた理由を「稚内という土地に来たかったから」と答えている回答者が 52.9%もいる。これは 6 通り上げられた選択肢の中で突出して多い回答である。「稚内以外の観光地へのついでだったから」へは、12.8%しかない。

稚内には訪れる人々にとって大きな魅力があるにもかかわらず、地域の人々の認識には大きな誤解や勘違いがあるために、出口が見えない迷路に入り込んでいるのかもしれない。稚内観光の最大の課題は、個々の観光事業ではなく、地域観光振興に取り組む考え方にあることが見えてきた。

通常、地域の観光振興提案書や計画書では、データによる数からの地域の観光の現状と課題の指摘から始まり、その後には大小の夢のような事業が盛り込まれている。しかし、本書の構成はそうした一般的な形とはおよそ異なったものとなっている。つまり、それらの項目の前に、まず稚内がこれから観光振興を行うにあたっての観光に対する根本的な考え方、取り組み方について詳しく示している。稚内という素晴らしい観光素材と壮大な事業計画があっても、考え方が間違っていたら観光振興には結びつくことはないからである。

観光振興には、現実を直視する客観的な目と、地域をどのような観光地にしていくか、ひいては地域そのものをどのようにしていくのかという価値観にもとづく主観的な考え方が必要なのである。

本計画策定にあたって、今後の稚内観光の担い手となるであろう若手の方々に構成されるワークショップ（ゼロから稚内観光を見なおそうという意味から **From Zero** と命名）に参加し、また、多くの観光ポイントを実際に自ら訪れてみた。さらに市の観光交流課の担当の方とも議論を重ね、その結果、稚内観光の振興にあたって何が課題になっているかを私なりに整理し、意見を述べさせていただいた。

より多くの市民の皆さんや関係の方々に本書を読んでいただき、地域が力を合わせて新しい稚内観光をつくってってもらいたいと強く願うものです。

ワークショップ From Zero 座長

北海商科大学商学部准教授 細野 昌和

1. 活動概要

稚内市観光振興計画の策定作業にあたり、稚内市主導の計画づくりではなく、市民自らが、稚内観光の役割、位置づけを認識し、自らが主体となって観光振興を図っていくことが重要である。

このため、本計画づくりにあたっては、稚内観光のこれからの担い手である若手の方々を中心に、観光関連の方々だけでなく、商店街の方々等に参加してもらい、今、これから稚内観光をつくっていくという考え方のもと、「ワークショップ From Zero」と命名し、取り組んできた。

具体的には、From Zero のメンバー自らが、新たな稚内観光の掘り起こし作業に携わってもらい、実際に市内を探索してもらったり、稚内の歴史・文化の掘り起こし作業に携わってもらいながら、今後の稚内観光のあり方を検討してきた。

また、本計画策定にあたっては、北海商科大学細野昌和准教授のご指導、アドバイスをいただきながら取り組んできた。



ワークショップ活動状況

ワークショップ “From Zero”

From Zero の目的： 稚内を観光目的地に変える

現状：利尻・礼文観光の
「ついでに立ち寄り」

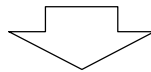
独自の魅力

「稚内へ行きたい」

- ・ 観光客にとって稚内は通過する所
- ・ 経済効果・社会効果が限定
- ・ 市民も観光地とは思っていない
- ・ 不統一で中途半端な取り組み
- ・ 観光資源の浪費、荒廃の危険
- ・ 観光客にとって稚内が観光目的地
- ・ 宿泊し1～2日かけて稚内の自然・歴史を満喫
- ・ 市民に観光地としての認識と意欲
- ・ 統合された質の高い観光振興への志向
- ・ 持続可能な観光地

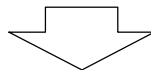
STEP 1（～9月）：稚内の自然・景観の掘り起こし／個人観光客の意識調査

- ・ 目前に広がる稚内の空間的な新たな認識
- ・ From Zero の視点で価値の見直し、掘り起こし
- ・ 日本唯一の財産最北端の自然・景観
- ・ 現状の個人観光客の意識把握



STEP 2（9～10月）：歴史と意味の掘り起こし

- ・ 歴史と意味の奥行きのある新たな認識
- ・ ステップ1が持つ歴史、意味を掘り起こし
- ・ 人々に感動を与える本土最北端の歩み
- ・ 自然と歴史・意味をつむぎ、稚内観光の姿へ



STEP 3（10～11月）：稚内を観光目的地にするためのFrom Zeroの主体的意見

可能な限り多くの多面的意見をカード化

- ・ 自然と歴史を提供するために必要なモノ・コト
- ・ ゆっくりと見て、体験し、感動してもらう工夫
- ・ 振興を推進するための市民の役割、行政の役割
- ・ 現状の課題、改善点 等々

KJ法により意見
集約・体系化作業
(細野、ビズ総研)

中期的観光振興策作成

市民と行政の協力のもと稚内を観光目的地化へ

ワークショップ From Zero メンバー表

ワークショップメンバー表

	氏 名	所 属
座 長	細野 昌和	北海商科大学商学部准教授
副座長	佐賀 孝博	稚内北星学園大学情報メディア学科教授
From Zero	相原 春樹	稚内空港ビル株式会社
〃	秋元 哲哉	(株)うろこ市
〃	池野 恵介	ホテル喜登
〃	尾崎 篤志	ペットショップ カナリヤ
〃	梶 隆一	稚内グランドホテル
〃	菅野 貴広	北都観光株式会社
〃	木村 正志	稚内観光協会
〃	杉本 廷	ハートランドフェリー(株)
〃	出村 賢志	(株)カメラセンター稚内中央写真館
〃	平間 英光	(株)稚内副港サービス
〃	武藤 尚	(株)武藤はくぜん
〃	村上 由夏	ホテル 御園
〃	安田 智美	ホテル メグマ
〃	米谷 裕人	(株)トヨタレンタリース旭川
〃	稚内市建設産業部観光交流課	
とりまとめ	三上 知也	(有)ビズ総合研究所

2. ワークショップの考え

ワークショップの意見及び今後の観光振興の方向性

	項目	具体的意見 (代表意見もしくは意見の集約)	今後の方向性
稚内の現状について	稚内のイメージについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何もない ・ 遠い、運賃が高い ・ 寒い、暗い、風が強い、 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たなイメージづくり
	稚内観光の課題について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人客が行動できる場がない ・ 看板、案内が機能していない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しめる場をつくる ・ 看板等の見直し
交通について	稚内までの交通アクセスについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 航空運賃が高い。低価格化 ・ 欠航対策が必用 ・ J Rリゾート列車の運行 ・ 時間距離対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクセス交通対策 ・ 移動時間を楽しむ
	稚内での交通について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光タクシーの運行 ・ 巡回バスの運行 ・ 空港からホテルまでのシャトルバス、タクシー、レンタカー利用体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 徒歩客が楽しめるサポート体制
今後の改善、整備について	施設整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光拠点施設の整備 ・ 通年利用可能な全天候施設 ・ 温泉施設 ・ 道の駅の整備(オロロンライン、オホーツクライン、国道40号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稚内の歴史・文化の提供機能の整備 ・ 楽しめる場をつくる
	観光資源の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海、利尻富士 ・ 電柱等の配慮 ・ 旧稚内駅(北防波堤ドーム) ・ 歴史・伝説の絵本の作成 ・ 歴史・文化探索コース 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しめる場をつくる
	独自観光メニューの創出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 待ち歩き・散策コース ・ グルメ、土産品の創出 ・ 新たなイベント企画 ・ 体験観光メニュー(農業、漁業) 	
	観光情報発信機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看板の見直し(道順などわかりやすく、英語標記等外国語対応、地元情報の充実) ・ 情報システム(無線LANの整備、ホームページの充実(ロードマップ、企業情報等の充実)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光情報の整備と発信機能の整備
	広告・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・ マスコミの活用 ・ 有名人の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光情報の発信

		<ul style="list-style-type: none"> 雑誌への掲載 	
	宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> 個人、家族向け、女性向け等 価格の見直し ホスピタリティの向上 コンベンション機能の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の行動サポート機能の整備 楽しめる場をつくる
	ホスピタリティの向上	<ul style="list-style-type: none"> 市民、企業の地元意識の醸成 タクシー運転手の意識醸成 	<ul style="list-style-type: none"> 観光・サポート情報提供機能の充実
	観光マイスター制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> 観光関連企業での普及 タクシー業界への普及 	
推進体制について	観光推進主体	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会、市役所等の役割分担 	<ul style="list-style-type: none"> 稚内観光振興中核組織の明確化
	継続的活動	<ul style="list-style-type: none"> From Zero の継続 業界等における勉強会 学校、市民向け稚内観光教育、啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 観光推進体制の確立
	広域連携	<ul style="list-style-type: none"> オロロンラインの見直し、連携強化 オホーツクラインの見直し、連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> 広域連携の推進

ワークショップの考え方の総括

